

令和5年度

学生によるオレンジリボン運動

久留米大学 実施報告書



実施主体 久留米大学 人間健康学部 総合子ども学科

実施内容 令和5年9月から12月

- 1)久留米市内での児童虐待防止月間への参加
- 2)大学祭での啓発活動
- 3)久留米市内の高校への出前授業
- 4)小学生とのクリスマス会

①事前に取り組んだ内容

- 1) に関連して：久留米市役所子ども未来部子ども家庭相談課を訪問し、私たちが行ってきた活動の報告をしたり、久留米市内での児童虐待防止活動について話を聞いたりしました。
- 3) に関連して：これから親となる世代の高校生が児童虐待の背景や子育て家庭を支える社会資源について理解を深めてもらえるように今の高校生が児童虐待をどのように捉えているのか出前授業先の高校へ話を聞きに行きました。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

- 1) 市民のみなさまに向けた児童虐待防止の啓発活動として、オレンジリボンの作成や配布を市役所の方と一緒に行いました。
- 2) 地域の方々に「オレンジリボン運動」を知っていただき、児童虐待の防止につなげることを目的に、子どもたちに楽しい時間を過ごしてもらうことを目的に、ブースを出店し、来場客に児童虐待への想いを書いてもらいました。
- 3) 「児童虐待について」「オレンジリボン運動について」をテーマに、高校生に向けて授業を行いました。グループディスカッションを取り入れ、子どもが泣いた時の気持ちを考えてもらったり、将来活用できる子育て支援に関する社会資源への理解を深めてもらったりしました。
- 4) 小学生に楽しい時間を過ごしてもらうこと、保護者にほんの少しの息抜きをしてもらうことを目的に、小学生とレクリエーションをし、大学生手作りのご飯を食べってもらうクリスマス会を実施しました。

③オレンジリボン運動を終えて…

地域の方と交流しながら活動を行うことで、自分たちの価値観だけでなく様々な考えや想いを知ることができました。「児童虐待防止」という一つの思いに向けて意見を出し合い活動することで、大きな達成感ややりがいを感じました。



高校生に実際に授業してみることで、児童虐待についての認知度や、興味関心について知ることができました。また、結果として将来親となる世代の若者に社会の頼るべき子育て支援について伝えることができたかと思えます。



【久留米大学】 [久留米大学 公式サイト \(kurume-u.ac.jp\)](http://kurume-u.ac.jp)